



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ 「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」 会長 西原克甫

副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

第1016回 例会 2010.09.24 (金) 雨

司会:山本 章君 指揮:土屋 巧君

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

こんにちは、18日(土)米山梅吉記念館秋季例祭が行われました。当クラブからは、野中信心運営委員、矢岸貞夫運営委員、中村パスト会長と私が出席致しました。お忙しい中ありがとうございました。



今朝、イチロー選手が200本安打を達成したそうです。10年間続けて200本安打達成です。すごいことですね、われわれも目標に向かって頑張りましょう。

話は変わりますが、22日中秋の名月、皆さんもご覧になりましたか???

ほんとうに言葉通りの美しい十五夜でした。そこで中秋の名月について調べてみました。皆さんご存じだと思いますが、中国や日本では、月を愛でる慣習が古くからあり、日本では縄文時代からあったといわれています。

日本には、十五夜の月を鑑賞する習慣は中国から伝わり旧暦の八月、九月ごろは、北半球では、太陽と月との角度が観月にもっともよい時節(あかるい)だそうです。

日本では月が見える場所に、薄(すすき)を飾って月見団子・里芋・枝豆・栗などを盛り、御酒を供えて月を眺めたそうです。

又、話は変わりますが今朝の新聞に、タイの首都バンコクの郊外に客が卓上のタッチパネルで料理を注文すると甲冑姿の「サムライロボット」がレール上を移動してテーブルまで運んでくれる和食レストランが登場したそうです。異色のコラボレーションは地元メディアで話題となり週末には多くの家族連れでにぎわっているそうです。ロボットが働いているなんて夢があっていいですね。

この様なアイデアに基づいた商売もこれからは、重要だと思えます。我々ががんばりましょう。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

杉山順一さん

稲葉良弥君(三島RC)

河邊和年君(三島RC)

おめでとう

会員誕生日

9月9日

服部光弥君

9月27日

米山晴敏君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/33	84.85%	32/33	96.97%
今回	28/33	84.85%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

大房君、岡君、中村君、望月君、山口(雅)君

幹事報告

幹事 内田憲一君

- 11月14日 地区大会 出席義務者
敬称略 中村 太田 小林 宮沢 渡邊
山田 根津 石井司 米山
山口辰哉 服部 西原 内田



スマイルボックス

服部光弥君:先日、野中さん、矢岸さん、根津さんと河口湖ロータリーとの親善コンペへ行って参りました。ゴルフもトークも良くでき、充分懇親を深めてきました。

遠藤正亀君:先週、キカイの故障で例会をドタキャンしてしまいました。スマイルします。

山本章君:娘が明日結婚式です。よろしく願い致します。

渡邊照芳君:イチロー10年連続200本安打おめでとう。あんたはエライ！日本人の誇りだ。11年連続に向け来季もガンバレ！

委員会報告

親睦委員会

委員長 石井邦夫君

～秋の芋煮会のお知らせ～

会員・家族の親睦を深めるため、キャンプ場にて芋煮会及びバーベキューを行います。自然を満喫しながら楽しく食事をして1日過ごしましょう。皆様のご参加をお待ちしています。

日時:10月17日(日) 10:00～15:00頃

場所:桃沢キャンプ場(長泉)

参加費:大人 ¥2000 家族 ¥1000 子供 無料

※石井邦夫までご連絡をお願いします。

クラブフォーラム

フリートーク ～テーマ 楽しい例会にする為に～



1. 服部光弥君
2. 中山和雄君
3. 内田憲一君
4. 山田定男君
5. 矢岸貞夫君
6. 石井司人君
7. 杉山順一さん



PHOTO GALLERY



ROTARY NEWS

～歴史に残る1ページ

ニューオーリンズとロータリー～

米国ルイジアナ州ニューオーリンズにおけるロータリーの歴史は、はるか昔、シカゴ・ロータリー・クラブ会員だったチャールズ A. ニュートンが、ニューオーリンズで保険業を営むウィリアム J. ボバードを訪れた時までさかのぼります。

ボバードはこの時、ニュートンからシカゴにおけるロータリーの活動を聞いて心を動かされ、ニューオーリンズでもロータリー・クラブを始めてみよう、と、何人かの友人に提案しました。そして1910年2月23日、創立会員となる26人がクラブ定款と細則を採択し、ニューオーリンズにおけるクラブが誕生しました。

1976年には、92の国と地域から13,935人のロータリアンがニューオーリンズの地に集い、第67回RI国際大会を開催しました。

時は過ぎて2011年の5月21日～25日、ニューオーリンズは再び国際大会の舞台となります。